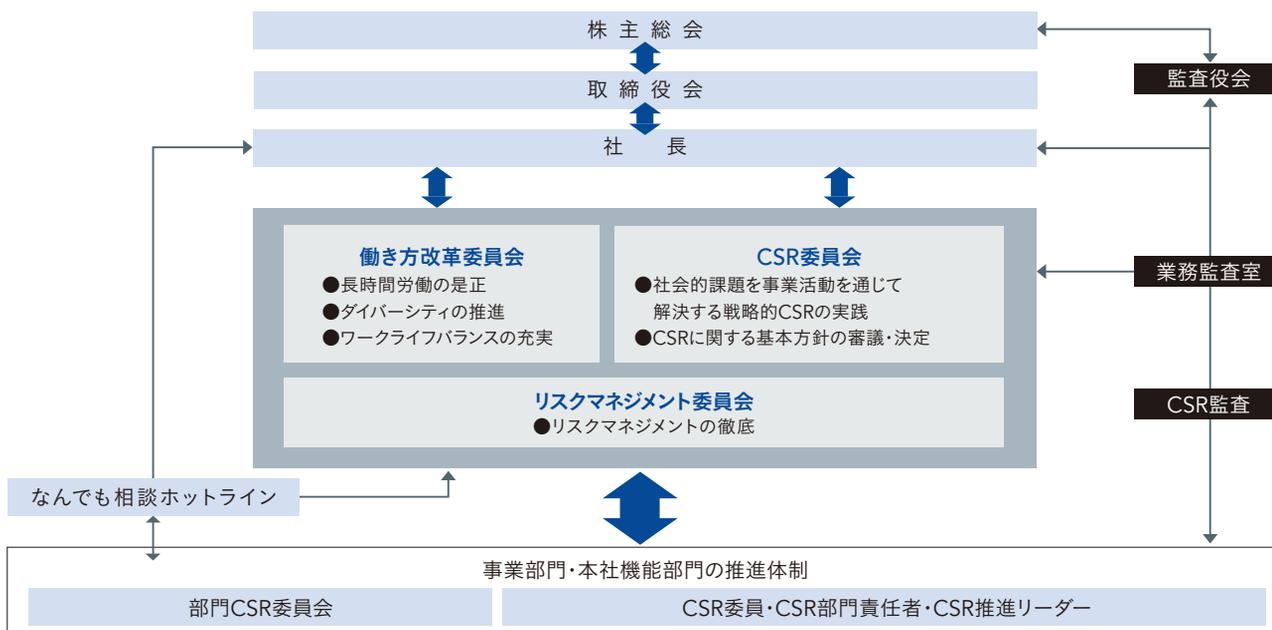


# CSR推進体制

当社は、「CSR委員会」「働き方改革委員会」「リスクマネジメント委員会」の3つの委員会を設置し、これらの委員会が有機的に連動することにより社会から信頼される企業としてのガバナンス体制を徹底しています。CSR委員会では、CSR担当役員を委員長、CSR委員をメンバーとし、解決すべき社会的課題について自社事業活動を通じて持続可能な社会の実現及び企業価値向上を目指すため、またCSR委員会で戦略的CSRを実践する上での基本方針の審議・決定、ならびに推進事項及び課題への対策を審議します。さらに、CSR委員会の決定事項の徹底や、各部門における次年度展開を計画・実践する組織として「部門CSR委員会」を設置。同委員会での実践状況は、CSR委員会で報告され、活動内容を全社レベルで把握することにより組織的なCSRマネジメントを推進します。



## トピックス

### SDGs に配慮しCSV経営をどう実践するか (CSR研修会開催)

2018年10月11日、「グンゼグループCSR研修会」(大阪本社・ハービスエント会議室にて)が開催され、全国から120名(午前の部・午後の部各60名)が参加しました。冒頭に廣地社長から「事業活動に資する社会貢献をテーマアップして取り組む。だから、継続していける。だから、全員が参加し実感できる。そういう活動に舵を切ってやっていこう」という方向性が示されました。当日は、企業のCSR活動で経験豊富な笹谷秀光氏(株式会社伊藤園顧問：当時)を講師に迎え、「SDGsに配慮しCSV経営をどう実践するか」について、最新の考え方や事例を交えわかりやすく講演いただきました。午後の部では、CSR推進リーダーを中心に、より具体的で実践的な内容とグループ討議により、非常に多くの気付きをいただくことができました。



グループ討議の様子

### 笹谷講師からのメッセージ

創業の精神と企業文化を基礎としたグンゼの事業経営のあり方は、今日のCSRの考え方にも即しています。今回の研修会でお話した内容を踏まえて「事業活動を通じたCSR・SDGs活動」を進化させ、より広い視点、より中長期の軸で社会の持続的発展に貢献するグンゼグループとして、さらに飛躍されることを期待しています。



講師にお迎えした笹谷秀光氏(現在、社会情報大学院大学客員教授)

# CSR活動をさらに活性化するために

## CSR活動優良事業所表彰

当社グループでは各事業所に部門CSR推進委員会を設置、CSR活動を推進しています。

毎年、各部門の活動を表彰することにより、部門の活動を称えるとともに

CSR推進リーダー会議などで共有し、CSR活動の活性化につなげています。

1位受賞の部門は、構成員の一体感を醸成する取り組みや、社会貢献のもったいない活動などの

あらゆる分野において幅広く精力的な活動を推進したことで表彰されました。以下は表彰を受けた部門です。

### 工場部門 部門別順位

#### 1位 メディカル事業部 ……92点



#### 全国労働衛生週間発会式を開催

10月1日、全国労働衛生週間発会式を開催。準備月間中に、安全衛生委員会メンバーなど各推進委員が取り組んだ労働衛生活動についての報告を各推進リーダーから全構成員に向けて行い、あわせて労働衛生に関する優秀標語の表彰式を行いました。また期間中は、明るく元気な職場づくりに活かせるようにコミュニケーションスキルアップのための参考資料を毎日メール配信しています。気持ちの良いコミュニケーションを一人ひとりが心がけて、明るく元気な職場環境を目指していきたいと思えます。

2位 東北グンゼ ……75点

3位 綾部エンブラ ……74点

### オフィス・サービス部門 部門別順位

#### 1位 綾部本社 ……93点



#### 「SDGs」が未来蔵の展示に新登場

皆さん、「SDGs」ってもちろんご存知ですよね。10名の研究開発部員が世界の未来を変えるために熱く語っている姿を未来蔵1階の大型ディスプレイでご覧いただけます。「未来を変えるため、あなたができること」をつぶやけるスペースを新設し、すでにたくさんのメッセージをいただいています。未来蔵で世界の未来を変えるための一歩を一緒に踏み出してみませんか。

2019年6月21日にグンゼ博物館 未来蔵がリニューアルオープンしました。ぜひお越しください。

2位 研究開発部(京都)・QOL研究所 ……84点

3位 宇都宮物流 ……79点

## 会社概要

概要		2019年3月31日現在
創立	1896年(明治29年)8月10日	
大阪本社	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田二丁目5番25号 ハービスOSAKAオフィスタワー TEL (06) 6348-1313(代表)	
登記上の本店	〒623-8511 京都府綾部市青野町膳所1番地	
東京支社	〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目10番4号 グンゼ日本橋ビル TEL (03) 3276-8710(代表)	
決算期	3月	
発行可能株式の総数	50,000,000株	
発行済株式の総数	19,293,516株	
資本金	26,071百万円	
株主数	23,560名	
グンゼグループ会社数	国内 29社 海外 35社	
従業員数	1,703名(単体) 6,607名(連結)	
上場証券取引所	東京(第1部)	
証券コード	3002	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
配当	配当額は、通常6月に決議され、支払われます。	
株主・投資家への情報提供	会社案内 グンゼ統合レポート 決算短信 有価証券報告書 IRチャートジェネレーター(WEB)	
定時株主総会	毎年6月末までに開催	
ウェブサイト	ホームページでは、企業情報や製品・サービス情報を掲載しています。最新の決算情報やニュースリリースがご覧いただけます。	
IR窓口	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田二丁目5番25号 ハービスOSAKAオフィスタワー	

## 沿革

1896	創業者・波多野鶴吉が地域産業振興を目的に京都府何鹿郡(現:京都府綾部市)に郡製絲株式会社を設立
1900	パリ万国博覧会において金牌を受賞
1902	輸出生糸を米国スキンナー商会に特約販売開始
1909	正量取引を開始
1917	郡是女学校設置
1933	ニューヨークにグンゼシルクコーポレーション設立
1934	塚口絹製品工場でフルファッションの靴下生産開始
1946	宮津工場でメリヤス肌着の生産開始
1954	ミシン糸事業開始(現:繊維資材事業部)
1962	プラスチック事業開始
1965	ファンデーション(婦人下着)事業開始
1967	社名をグンゼ株式会社に更改
1968	バンテリストッキングの生産開始
1973	緑化事業開始(現:グンゼグリーン株式会社)
1974	グンゼ包装システム株式会社設立(プラスチックフィルムの印刷加工・販売)
1976	「社是」制定
1977	バジャマセンター設置(現:ハウスカジュアルセンター)
1983	エンジニアリングプラスチック事業開始
1984	グンゼスポーツ株式会社設立
1985	メディカル開発室設置(現:メディカル事業部)電子部品事業開始つかしん(塚口工場跡地)オープン
1989	SOZ事業本部設置(現:メカトロ事業部)
1992	グンゼコーポレートブランドロゴの制定
1996	創立100周年(グンゼ博物館 オープン)
1998	電子部品事業部設置・エンブラ事業部設置
2003	株式会社つかしんタウンクリエイイト設立(ショッピングセンターの運営・管理)
2007	グンゼエンジニアリング株式会社設立(エンジニアリング・省エネサービス事業)
2013	「明日をもっと、こころよく」ブランドステートメント制定
2014	QOL研究所設立あやべグンゼスクエア オープン
2015	大阪市女性活躍リーディングカンパニーに認定
2016	株式会社ジーンズ・カジュアル ダンを子会社化
2017	大阪府と包括連携協定を締結グンゼメディカルジャパン株式会社設立(メディカル材料の販売)
2018	京都府と地域活性化包括連携協定を締結プラスチックカンパニーベトナム新会社設立

### 社会貢献活動のご紹介(グンゼラブアース倶楽部)

グンゼラブアース倶楽部は、グンゼ創業の精神に基づき、グンゼ創立110周年記念事業として2006年4月に設立されました。会員からの寄付(100円/1口)と会社のマッチングギフトを原資とし、「持続可能な社会形成」のために活動しているNPO団体などへの支援を続けています。2018年度は10団体へ20万円相当の現金または商品を送付しました。「大阪府みどり推進室」へはグンゼグリーンの協力を得て植樹祭の樹木を提供したり、新規支援先の「みらいこども財団」では支援商品をYahoo!じ付き募金で活用するなど新しい取り組みもあり、一方的な支援ではなくWIN-WINの関係が築けています。



および LOVEEARTH はグンゼ株式会社の登録商標です。

2018年度グンゼラブアース倶楽部支援先(団体名)  
J-POSH セーブ・ザ・チルドレン 日本クリニックラウン協会 国境なき子どもたち ロシナンテス アムダ(AMDA) CIVIC FORCE(シビックフォース) ブリッジフォースマイル 大阪府みどり推進室 みらいこども財団